

2023年第11期FFG次世代経営塾 受講者の声



光進建設 株式会社
井上 雄一朗様

次世代経営塾に今回初めて参加させて頂きまして、誠に有難うございました。まず、一番驚いたのは、なかなかお目にかかれない講師の先生方からは貴重な講義を受講させて頂き、FFG様をはじめ大変有意義な勉強会のお場をご提供して頂いた事深く感謝しております。今後、会社経営をしていく上で必要な知識や手段・方法等、今回学んだことを実践していきたいと思っております。

また、FFG様のネットワークづくりには感銘を受けました。九州を中心に各県から優良企業様にお声かけ頂いて、次世代の経営者の方々と繋がり、同業者のみならず異業者様とも様々な悩み事や相談などできるような関係性を構築する事ができたこと、かけがえのない貴重な経験となりました。



株式会社
太平洋理科学センター
高橋 麻紀様

第11回FFG次世代経営塾に参加し、多くの学びを得ることができました。全6講を通じて、経験豊かな講師の先生方が具体的な実例を交えて研修を進めてくださいました。異業種の参加者同士であっても自社の課題について意見交換を行うことで、共通する課題が見出せ、新たな視点を得ることができました。また茶話会では講師の先生方に直接相談する貴重な機会を頂き、実践的な知見も深めることができ、私の視野を広げる助けとなりました。リピーターの方が多くのも納得の充実した内容です。

次世代経営塾を受講して、わが社の大切な人材がより働きやすい環境を作ることの大切さを改めて強く感じました。その第一歩として、まずは社内規程の見直しに取り組んでいます。



株式会社 優愛会
藤本 征晃様

今回初めて受講致しましたが、全6回の講義の中で参加者の数だけ捉え方が違い、個々では考えつかない発想の転換や着眼点の違い、優先順位の違いが表面化し、可視化された事が最も私にパラダイムシフトをもたらしてくれました。また、変化の目まぐるしい時代の移り変わりに、自身も企業もどのようにカスタマイズしていけるのか？を問われているのだと痛感しました。

ヒューマンリソースとDXの割合すら逆転し得る現代ですが、今回の研修で培ったスキルを自社に落とし込み、多様性を持ち合わせた企業となる事が未来を見据えた経営に繋がると考えます。

この半年間、研修を通じて大変貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

2024年度 FFG経営塾

お申込み方法

1. 下記URLか右記の二次元バーコードよりアクセスの上、該当のセミナーのフォームからお申込みください。

<https://www.ffgbc.com/seminar/>

2. 各講義開催日までにご参加者様に「ご案内メール」をお送りします。



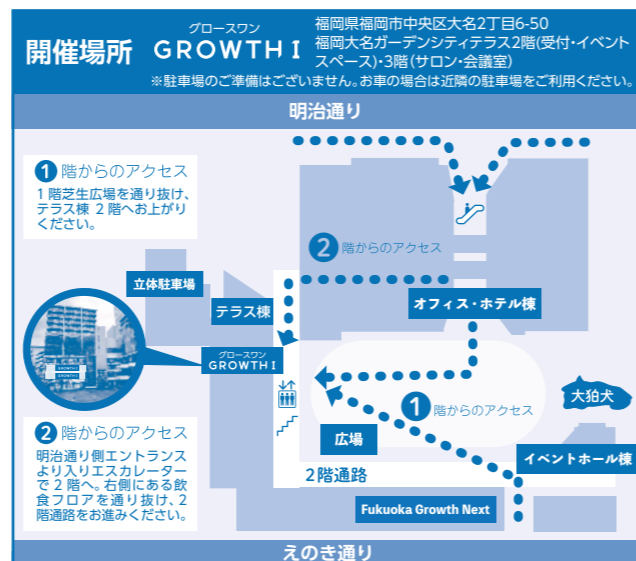
上記お申込みが難しい場合は、お電話でもお受付しております。

お電話 TEL:092-723-2241 (FFG経営者クラブ事務局)

ご留意事項

- ※本セミナーはグループワークがございます。
- ※受講料につきましては、一括でのお振込みをお願いいたします。途中ご欠席の場合でも受講料の一部ご返金は承っておりませんのでご了承ください。尚、振込期限までのキャンセルにつきましては、受講料全額を返金いたします。
- ※お申込み時にご入力いただきました情報は、FFG経営者クラブ、福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行、FFGビジネスコンサルティング、講師(及びその所属先)において、本セミナーの円滑な運営のためにのみ利用させていただきます。
- ※当日のセミナー・懇親会等の運営はFFGビジネスコンサルティングが行います。
- ※セミナーの録音・録画は固くお断りいたします。
- ※セミナーへのご参加が不適当と判断した場合には、セミナーへのご参加をお断りする場合がございます。

対象者	若手経営者・後継者の方々・経営幹部の方々		
定員	40名(定員になり次第、締め切らせていただきます)		
期間	2024年7月25日(木)~2024年11月8日(金)	場所	グロースワン GROWTH1
受講料(税込)	お1人様 FFG経営者クラブ会員/132,000円(税込) 会員以外/178,200円(税込) ※FFG経営者クラブ同時入会の際は会員価格にて受講可能 ※懇親会費用を含みます。		
申込締切	2024年7月11日(木)		
受講料の支払方法	後日請求書を送付しますので、指定口座へお振込みください。 (振込期限)2024年7月19日(金)までのお振込みにご協力ください。		
お問合せ申込先	株式会社FFGビジネスコンサルティング 担当:上野・高尾 〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 TEL 092-723-2241 FAX 092-721-9258		
主催	FFGビジネスコンサルティング、福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行		



2024年度 FFG経営塾 (旧:FFG次世代経営塾)

期間: 2024年7月25日(木)~2024年11月8日(金) 定員: 40名

FFG経営塾(旧:FFG次世代経営塾)は、若手経営者や後継者、経営幹部の方々を対象に、企業経営者に求められる幅広い知識の修得と、ネットワークづくりを狙いとした講座です。

開催概要

2024年 7月25日(木)	「人を動かす」経営	CNGWAY パートナー カーネギー・グローバル・マスター・トレーナー 石原 由一朗氏
2024年 8月 9日(金)	人材マネジメント	アサヒグループホールディングス株式会社 社外取締役 佐藤 千佳氏
2024年 8月29日(木)	リーダーシップ	日本生産性本部 主席経営コンサルタント 中間 弘和氏
2024年 9月12日(木)	コンプライアンス	長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士 深水 大輔氏
2024年 10月3日(木)	事業開発	九州大学 経済学研究院(ビジネス・スクール:QBS) 教授 九州大学ロバート・ファン・アントレプレナー(QREC)センター長 高田 仁氏
2024年 11月8日(金)	組織マネジメント	オフィスPDCA 代表 産業カウンセラー・キャリアコンサルタント 蒲田 善行氏

一流の講師陣によるセミナーで、経営者として、時代に即した必要な知識、事業を継続・価値向上していくための知識、マネジメント、リーダーシップを学ぶことができます。
 演習やグループワーク、懇親会などをおして、参加メンバー同士や講師との交流や情報交換ができる場を提供します。

	日程	講師	テーマ	プログラム
第1回	2024年 7月25日 (木) 開講式 13:00~13:15 セミナー 13:15~17:15 懇親会 17:30~19:00 ※会場は別途ご案内	CNGWAY パートナー カーネギー・グローバル・マスター・トレーナー イシハラ ユウイチロウ 石原 由一朗 氏	「人を動かす」経営 人を動かすことについて経営者として必要な視点を学ぶ	1. 人間関係を築くポイント 2. エンゲージメントを高める組織 3. 従業員のやる気スイッチを理解する 4. まとめ
第2回	2024年 8月9日 (金) セミナー 13:00~17:00	アサヒグループホールディングス 株式会社 社外取締役 サトウ チカ 佐藤 千佳 氏	人材マネジメント 人材育成において経営が果たす役割について学ぶ	1. “人材マネジメント”の重要性について 2. 企業の経営戦略と合致した人事戦略の策定・実行 3. 経営者や人事責任者の責任と役割 4. 事例紹介 5. 経営者へのアドバイス、参加者も含めたディスカッション、Q&A
第3回	2024年 8月29日 (木) セミナー 13:00~17:00	日本生産性本部 主席経営コンサルタント ナカマ ヒロカズ 中間 弘和 氏	リーダーシップ 経営に求められるリーダーシップについて学ぶ	1. 印象的なリーダーシップ事例から 2. リーダーシップの基本/原理原則 3. 本質的なリーダーシップ構造と強化 4. 激変する経営環境に対峙するリーダーとしてのレジリエンス
第4回	2024年 9月12日 (木) セミナー 13:00~15:30 茶話会 15:45~16:45	長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士 フカミズ ダイスケ 深水 大輔 氏	コンプライアンス コンプライアンスの最新動向を学ぶ	1. コンプライアンスの射程 2. 最近のコンプライアンス事案 3. 日本の制裁制度の特徴 4. 第三者委員会とその課題 5. 企業風土/組織風土への注目の高まり
第5回	2024年 10月3日 (木) セミナー 13:00~17:00 茶話会 17:15~18:15	九州大学経済学研究院 (ビジネス・スクール:QBS) 教授 九州大学ロバート・ファン・アントレプレナー (QREC)センター長 タカタ メグミ 高田 仁 氏	事業開発 新たな事業価値を創造する考え方、方法について学ぶ	1. 近年の事業環境の変化と事業ドメインの再定義 2. 破壊的イノベーションとは 3. アントレプレナーシップと事業創造プロセスの特徴 4. ビジネスモデル・キャンバスの活用方法
第6回	2024年 11月8日 (金) セミナー 13:00~17:00 閉講式 17:00~17:30 懇親会 17:30~19:00 ※会場は別途ご案内	オフィスPDCA 代表 産業カウンセラー キャリアコンサルタント カバタ ヨシユキ 蒲田 善行 氏	組織マネジメント 経営として必要な組織全体のマネジメントについて学ぶ	1. 組織のカタチ—組織を考える様々な切り口と組織形態のあらまし 2. 組織の機能—「組織」だからできること 3. リーダーシップとマネジメント—組織運営のエンジンとハンドル 4. 組織風土—心理的安全性のある組織風土を実現する工夫 5. 組織開発—「人材開発」と同様に「組織開発」も重要であること 6. まとめ—自社の組織の課題を確認する